

(Abridged English Translation)

Cited Document 4

Japanese Utility Model Application Laid-Open No. 76,020/1977

Published: June 7, 1977

Filed: December 4, 1975

Application Serial No. 162,993/1975

Applicant: Fuji Heavy Industries Ltd.

Title of the Utility Model:

“Structure of backseat for passenger-cargo vehicle”

公開実用 昭和52-76020

2000円
(3,000円)

実用新案登録願 (1)

昭和50年12月4日

特許庁長官殿

1. 考案の名称

カキヤクケンヨウ ジドウシャ コクブザ カキコクゾク
貨客兼用自動車の後部座席構造

2. 考案者

住 所 茨城県新田郡新田町木崎 601の4
 氏 名 柿沼信吉

(外2名)

3. 実用新案登録出願人

住 所 東京都新宿区西新宿一丁目7番
 名 称 フジワラヨウエイ
 代表者 大原栄一



4. 代理人

住 所 東京都千代田区丸の内3丁目4番2号
 電話 (211) 4501~3番
 氏 名 (6222) 弁理士 秋元輝雄
 外 1 名

5. 添附書類の目録

(1) 明細書	1通	(3) 委任状	1通
(2) 図面	1通	(4) 願書副本	1通

50 162993

明細書

1. 考案の名称

貨客兼用自動車の後部座席構造

2. 実用新案登録請求の範囲

後部座席が設置される室内中間床面を一段落して二段形成した貨客兼用自動車において、上記後部座席はフレーム台と、このフレーム台上面に載置されるクッションシートと、このクッションシートの後端部側に立設されるバックレストと、このバックレストの背面部側に取付けられるテッキ板とから構成されるとともに、これら各構成体を前方あるいは後方に適宜回転展開または折り畳み可能にし得るよう構造することによつて、前部座席が設置される前部側上段床面を除く室内床面を全体的にフラットな面または二段の荷台面に拡張形成することを特徴とする貨客兼用自動車の後部座席構造。

3. 考案の詳細な説明

本考案は、例えばバン型自動車等の貨客兼用

一 自動車の後部座席構造に関し、後部座席が設置される室内中間床面を一段落して二段床面としつつ後部座席の折り畳み手段を工夫することにより、荷物等が積載される荷台全体をフラットにしたり、あるいは二段フロアにしたりして床面積の拡張使用を図るようとしたものである。

以下、本考案を図示の一実施例に基づいて説明すると、第1図に示すように、図中1はバン型自動車等の貨客兼用自動車本体で、室内床面2は前端座席3が設置される前部側床面2aと、通常の荷台となる後部側床面2bとを除く中間床面2cを一段落して二段形成され、かつその下段中間床面2cの略中央には、後部座席4が設置されている。上記後部座席4はフレーム台5と、このフレーム台5上面に設置されるクッションシート6と、このクッションシート6の後端部側に立設されるバックレスト7と、このバックレスト7の背面部側に取付けられたテッキ板8とから組立て構成されているとともに、上記フレーム台5はピン9によつて下段中間床面2cに前方回転自在に枢着さ

一 れ、また上記クッションシート6はピン10によつてフレーム台5に前方回転自在に枢着され、さらに上記バックレスト7はフレーム台5に一端をピン11で枢支した連結部材12によつて前後に適宜回転可能に取付けられ、さらにまた上記テッキ板8は、連結部材12に枢着されたバックレスト7の軸支部13と同軸的に連結した連結杆14を介して後方回転自在に取付けられている。そして、上記クッションシート6は、前方に回転させたとき、その後端縁部6aが上記前部側上段床面2aの段差部に突設した係止部15に係止して裏面部が上段床面2aと面一になるよう構成され、またこの状態で上記バックレスト7を前方に傾倒させたとき、バックレスト7の上端縁部7aが上記フレーム台5の上部前端縁または半転したクッションシート6の前端縁部6bに係止して、バックレスト7の裏面部が上記上段床面2a及びクッションシート6の裏面部と略々面一になるよう構成され、さらに上記テッキ板8は、後方に回転させたとき、その上端縁部8aが上記後部側上段床面2bの角

一 線部に形成した保止凹部16に係止して後部側床面2^bと同一になるよう構成され、これによつて第2図に示すように、前部座席3が設置される前部側上段床面2^aを除く全体にフラットな荷台面20を拡張形成することができる。

一方、第3図に示すように、クッションシート6を載直したままフレーム台5を前方に回転して倒し、かつこれに伴つてバックレスト7及びテッキ板8を後方（下方）に回転させて倒すと、フレーム台5、クッションシート6、バックレスト7及びテッキ板8は下段中間床面2^cの前方にコンパクトに折り畳むことができ、これによつて後部側上段床面2^bと下段中間床面2^cとで二段の荷台面21を拡張形成することができる。

このように、本考案は、後部座席が設置される室内中間床面を一段落して二段床面とした貨客兼用自転車において、後部座席を構成するフレーム台、クッションシート、バックレスト及びテッキ板を前方あるいは後方に適宜回転展開または折り畳み自在に組立てることにより、後部座席の設置

部分を含む荷台面の拡張化を図り、かつ荷台面を用途に応じて全体にフラットな面にしたり、二段にしたりすることができるようとしたことを特徴とし、実用上非常に便利な効果を奏するものである。

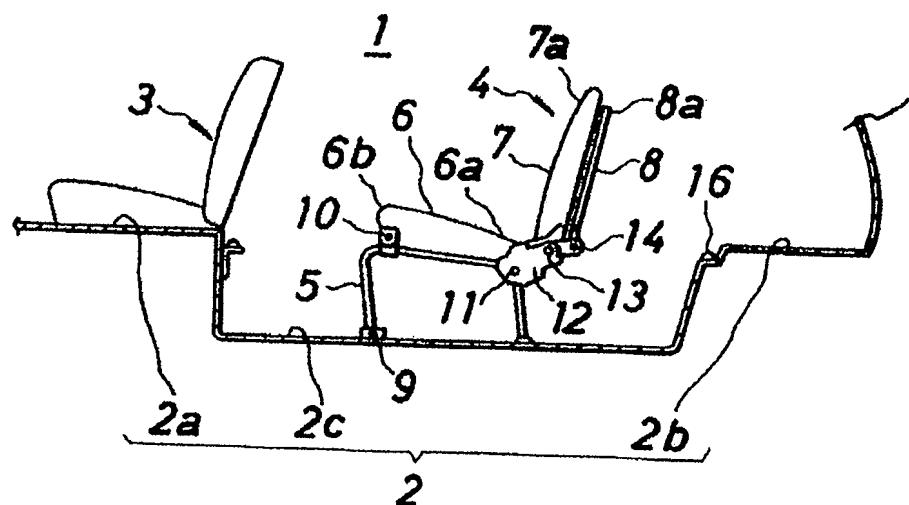
4. 図面の簡単な説明

第1図は本考案に係る一実施例を示す貨客兼用自動車の略示的要部説明図、第2図は同じく荷台面全体をフラットに拡張形成した状態を示す説明図、第3図は同じく荷台面を二段に拡張形成した状態を示す説明図である。

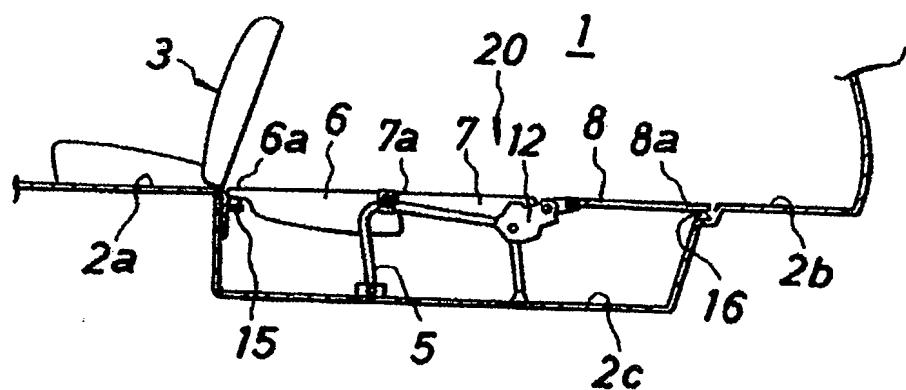
図中の符号の説明

- 1 ……自動車本体 2 ……室内床面
- 2 a ……前部側上段床面 2 b ……後部側上段床面 2 c ……下段中间床面
- 3 ……前部座席 4 ……後部座席
- 5 ……フレーム台 6 ……クッションシート
- 7 ……バックレスト 8 ……テッキ板
- 20、21 ……荷台面

第一 図



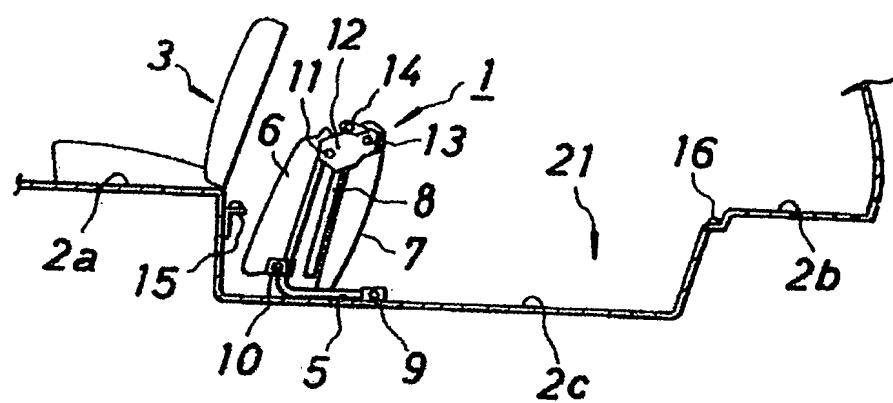
第二 図



76020 1

代理人 秋元輝雄
外1名

第 1 図



76020 25

代理人 秋元輝雄
外1名

公開実用 昭和52-76020

20

6. 前記以外の考案者及び代理人

(1) 考案者

住所 群馬県新田郡尾島町大字堀口 1235の4
氏名 山本勇三
住所 群馬県太田市下小林 218-6
氏名 大沢正義

(2) 代理人

住所 東京都千代田区丸の内3丁目4番2号
氏名 (1615)弁理士秋元不二三

⑨日本国特許庁

⑩実用新案出願公開

公開実用新案公報

昭52-76020

⑪Int.Cl²

識別記号 ⑫日本分類

B 60 N 1/10

80 B 6

庁内整理番号 ⑬公開 昭和52年(1977)6月7日

6839-36

審査請求 未請求

④貨客兼用自動車の後部座席構造

⑤実願 昭50-162993

⑥出願 昭50(1975)12月4日

⑦考案者 柿沼信吉

群馬県新田郡新田町木崎601の
4

同 山本勇三

群馬県新田郡尾島町大字堀口
1235の4

同 大沢正義

太田市下小林218の6

⑧出願人 富士重工業株式会社

東京都新宿区西新宿1の7の2

⑨代理人 弁理士 秋元輝雄 外1名

⑩実用新案登録請求の範囲

後部座席が設置される室内中間床面を一段落して二段形成した貨客兼用自動車において、上記後部座席はフレーム台と、このフレーム台上面に載置されるクッションシートと、このクッションシ

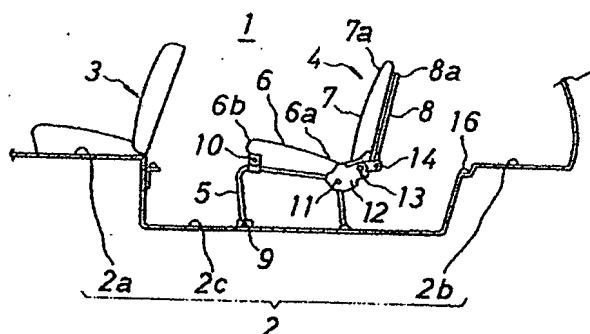
ートの後端部側に立設されるバックレストと、このバックレストの背面部側に取付けられるデッキ板とから構成されるとともに、これら各構成体を前方あるいは後方に適宜回転展開または折り畳み可能にし得るよう枢着することによつて、前部座席が設置される前部側上段床面を除く室内床面を全体的にフラットな面または二段の荷台面に拡張形成することを特徴とする貨客兼用自動車の後部座席構造。

図面の簡単な説明

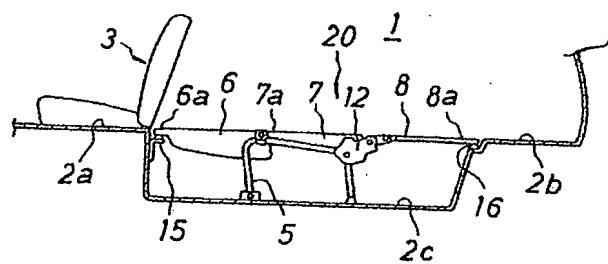
第1図は本考案に係る一実施例を示す貨客兼用自動車の略示的要部説明図、第2図は同じく荷台面全体をフラットに拡張形成した状態を示す説明図、第3図は同じく荷台面を二段に拡張形成した状態を示す説明図である。

図中の符号の説明、1…自動車本体、2…室内床面、2a…前部側上段床面、2b…後部側上段床面、2c…下段中間床面、3…前部座席、4…後部座席、5…フレーム台、6…クッションシート、7…バックレスト、8…デッキ板、20…荷台面。

第1図



第2図



第3図

